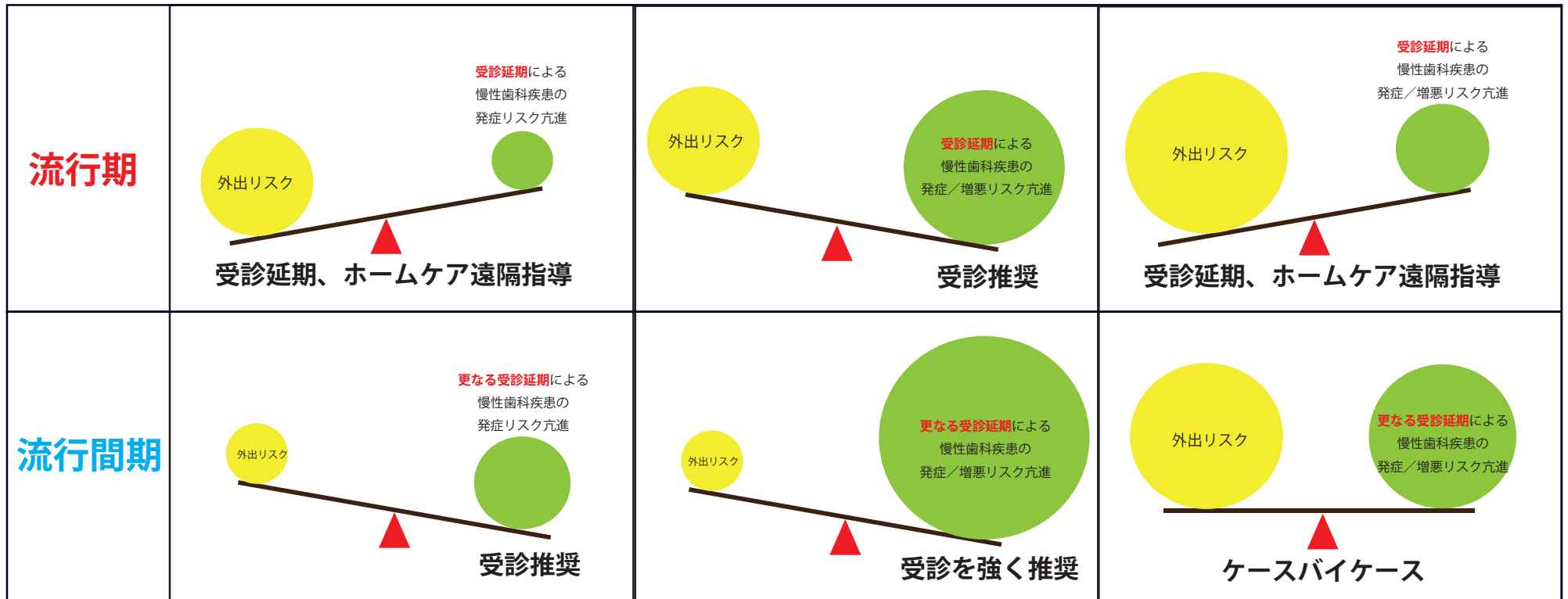


慢性歯科疾患低リスク患者

慢性歯科疾患高リスク患者

COVID-19 高リスク患者
(高齢、糖尿病など NCDs 罹患者)



流行期においては、受診延期を指示する。
流行間期に外出リスクが低下した段階で
受診を再開する。

流行期においても、慢性歯科疾患増悪を
予防するためのピンポイントの処置が
推奨される

流行間期における受診の推奨は、
COVID-19 感染/重症化リスクと
慢性歯科疾患の発症/増悪リスクとの
兼ね合いで決定

図 3. 流行状態および慢性歯科疾患^{注)} リスク別受診推奨レベル

COVID-19 感染リスクと慢性歯科疾患の発症/増悪リスクのバランスで、定期受診を延期するか推奨するかを決定する。

なお、高齢者や糖尿病患者など、COVID-19 重症化リスクが高い患者は、流行状況にその点も加味して歯科受診推奨レベルを判断する。

注) 本稿において、「慢性歯科疾患」は、歯周病の他にう蝕、一部の口腔粘膜疾患、顎関節症、長期経過をたどる障害や症候群（咀嚼機能障害、口腔機能低下症など）も含むものとする。